

## 第53期第9回常任幹事会 報告

日時：2024年1月25日(木)13:30~15:15

会場：東京労働会館5階地評会議室

出欠：吉田、稲葉、加藤(年)、塩野、井澤、阿久津(地評)、山根、相川、秋元、市橋、小形、岡本、阿久津(都生連)、加藤(教)、木崎、工藤、國米、佐久間、田村、築館、中山、細見、前沢、森松、吉野、小川、窪田

オブ：坂本、高橋

14/27 (●会場、□リモート、\_\_欠席)

議長：小川

### 会長挨拶

正月から大変なことが続いています、明けましておめでとうございます。というのも、ちょっと言いづらいような雰囲気ですけれども、まあ、あのとりあえずはおめでとうございます、よろしく願いいたします。

まず裏金問題ですよね。あの去年の暮れから起こった検察が頑張っていた訳ですが、結局蓋を開けてみたら、安倍派も何も全然、辞職もしない、何もしない。ほんと大山鳴動ネズミ一匹みたいな感じがありました。理由としてなんか政治資金規制法がザル法だから証拠を固めきれなかったということですが、あくまでも言い訳にしか過ぎないと思ですね。検察はやる気であれば、証拠がないところでも作り出してまで捜査を進めていくという体質があるわけです。例えば陸山会の小沢一郎の時の事件で、あの時に調書を捏造して起訴に持ち込んだわけです。その時に石川議員がICレコーダーで録音していたのです。その証拠があったから嘘だということがわかった。それとか、郵政省の時の村木さんの時のメールか何かを偽造してやったとか、そこまでやるようなところが、結局何もしないわけですよ。考えてみたら、これはもう、ただ政治資金収支報告書に記載をしていたかどうかよりも脱税ですよ。以前を振り替えると金丸事件の時には、最初政治資金の問題から入って、国税と検察が協働して見つけたら結構脱税したってことがわかったのです。そういう風にやる気であれば、どんな形ででも進められるはずなのに、野放しに見逃してしまうという。こういうね、あの体質っていうのはやっぱり検察は検察だけでは手にできないなと思います。

もともと特捜部っていうのは、戦後ですね、GHQが日本軍の隠徳物資を探させるために作った特別な組織らしく、やはり時の政府におもねっている部分があるのではないかな？これをしっかり正していくためには今の政府では無理、変わってもらわなくちゃいけないかなと私は強く思いました。

あともう一つ、今物価が高騰していますよね。実感としては10%、20%。生活に必要な物資が上がっているという実感があるわけです。けど、まあ鳴らしてみると3.58%らしいです。政府は3.6%の賃上げを目指せて言っているのですが3.6%もし上がったとしても、実質ゼロですよ。

私たち例えば医療関係者は度診療報酬が辛うじて0.88%微増しました。介護も劣悪な環境を改善すると1.59%の診療報酬を上げるそうですが、実質マイナスなわけです。こうい

うことを平気でやる政府というのはちょっと考えられないんじゃないかなと、私たちはもっと怒らなければならないと思います。だから、去年よりも今年の生活の質が悪くなるよというわけで、まして、従業員の給料を上げる余地なんてないわけですね。

そんなことで、やはりこの政府なんとか変えないと。統一協会からの問題も全然解決してないでこのうと生き残って、さらにこの裏金で何千万も脱税しながら生き残って、これで政府が続いていくんなら、私たちこれで我慢していけるのでしょうかね。もし今年選挙でもあればやはり私たちの意思をハッキリ見せていかなくちやいけないと思います。

最後に今、コロナやインフルエンザが爆発しています。第10波に入ってきているという報道もあります。実際連日何人も出ています。特にインフルエンザはAからBに変わってきていて、コロナはコロナでかなり高熱も出るような少し重症感が前よりは強いようなコロナが流行っています。くれぐれも換気ですね。できたらマスク。あと会食の時も気をつけるということです。皆さんもくれぐれもお体にお気を付けてよろしく願いいたします。

## I、報告

### 1、活動報告

01月	09日(月)18:00～	東京医労連旗開き	レストランテ	ベニーレベニーレ
	10日(水)10:00～	介護をよくする東京の会事務局会議	5階地評会議室	
	10:00～	中央社保協第6回介護・障害者部会	医労連会館+Web	
	13:30～	中央社保協第6回運営委員会	医労連会館+Web	
	11日(木)18:30～	東京地評新春旗開き	ベルクラシック東京	
	12日(金)15:00～	介護重点要望対都懇談	都議会日本共産党控室	
	18:30～	東京私教連旗開き	アルカディア市ヶ谷	
	14日(日)12:00～	4の日宣伝行動	巣鴨駅前	
	14日(日)12:00～	コミュニティユニオン東京15周年・躍進のつどい		
	15日(月)18:00～	東京土建一般労働組合旗びらき	ヒルトン東京	
	15日(月)18:45～	福祉保育労東京地本旗びらき	全労連会館	
	20日(土)15:00～	生存権裁判街頭署名宣伝	茗荷谷駅	
	24日(水)18:00～	介護をよくする東京の会 第9期学習会	地下中会議室+Web	
	25日(木)13:30～	東京社保協第53期第9回常任幹事会		
	15:30～	人権としての医療介護東京実行委員会		

### 2、中央社保協、加盟団体の取り組み

#### (1) 中央社保協

中央社保協第6回運営委員会報告

資料:1～4

## (2) 加盟団体・友誼団体の総会・学習会など

- 01月19日(金)10:05～ 東京土建社会保障対策部会 社保情勢・介護学習会 小川  
18:30～ 豊島社保協 国保・介護学習会 としま区民センター 窪田  
24日(水)19:00～ 板橋社保協 医療・介護学習会 板橋グリーンホール 窪田

## (3) 事務局・幹事団体

### 1) 人権としての医療・介護東京実行委員会 <会議なし>

- ①次回事務局会議 1月25日(木)15時半～ 5階地評会議室

### 2) 介護をよくする東京の会

資料:5～18

- ①事務局会議 1月10日(水)10:00～11:40 5階地評会議室

- ・ケアマネ不足を職員の職種転換で補う動きがある。板橋では公的老健が閉鎖される。
- ・訪問介護時の駐輪が課題になっている。新宿では区と懇談する中で制度ではないがステッカーを認めさせた。都の問題としても取り上げたらどうか?
- ・世田谷や足立では重層的支援事業を本格的に実施する。それに伴って世田谷では公的ヘルパーを配置せよという要求を出し、区長懇談を申し入れている。

#### ②協議事項

- ・1月12日(金)15時～ 対都要望懇談の内容と役割分担を確認
- ・1月24日(水)18時～ 第9期介護保険制度についての学習会 の役割分担を確認
- ・1月27日(土)14時～ サタデーアッピール宣伝 上野駅広小路口
- ・2月29日(木)昼～ 第2回介護署名国会提出行動

- ③次回事務局会議 2月14日(水)10時～ 5階地評会議室

### 3) 生存権裁判を支える東京連絡会 <会議なし>

- ・街頭宣伝

1月20日(土)15:00～16:00、東京メトロ丸の内線「茗荷谷駅」

- ・最高裁宣伝(大阪訴訟)

2月2日(金)午前8時半 最高裁西門での宣伝行動

#### ①次回幹事会

2月16日(金)14時～ 東京労働会館5階地評会議室

### 4) 消費税廃止東京各界連絡会 <会議なし>

- ①次回事務局団体会議 1月22日(月)13:45～ 4階自治労連会議室  
宣伝 " 12:00～12:45 大塚駅北口

## 5) 東京高齢期運動連絡会 <会議なし>

- ・第32期総会 2月24日(土)13時半～17時
- ①次回常任幹事会 1月30日(火)14時～ 東部区民事務所

## 6) 都民連 <会議なし>

- ・東京都議会第1回定例会の開会日行動  
2月20日(火)12:15～13:00 東京都庁第1本庁舎前歩道
- ①次回世話人会議  
2月5日(月)13:30～15:30 東京労働会館5階地評会議室

## (4) 共闘団体など

資料:19～25

- ・東京私教連より争議団裁判に対する団体署名への協力要請がありました。
- ・全日本年金者組合東京都本部より、全日本年金者組合中央本部「私たちは大法廷での審理を求めます」の団体署名と個人署名への協力要請がありました。また、年金裁判学習会への参加要請がありました。  
2月20日(火)13時半～ 年金裁判大学習会 第一衆議員会館 大会議室

## 3、会計報告

綴末資料

12月から延長期間としての月次決算を行っています。

今月の収入について：その他収入としての学習会講師料と国保パンフ代がありました。  
繰入金含む収入累計は1,304万9,297円、執行率99.2%となりました。

支出について：今月の特徴的な支出は、国保署名用紙の印刷代(7万枚)、サーバー年間契約料、地下書庫年間使用料、ファックストナーといった大きな支出がありました。支出累計は907万7,500円、執行率84.1%となりました。

また、総会での予算提案にそって4月からの月次も参考として作成しています。

## II、協議事項

### 1、情勢から

#### (1) 介護事業倒産122件で過去2番目、訪問介護は最多 5年

民間信用調査会社の東京商工リサーチが17日に公表した集計によると、5年の老人福祉・介護事業の倒産は122件と、介護保険制度が始まった平成12年以降で過去2番目に多いことがわかった。過去最多の143件だった前年から14.6%の減少で、デイサービスを運営するグループ31社が連鎖倒産した前年の反動との見方を示した。

倒産以外でも事業を停止した介護事業者の休廃業・解散は510件と平成22年の調査以降で最多となっており、「介護事業者の苦境が広がっている」とコメントしている。倒産は訪問介護事業者が過去最多を大幅に上回る67件(前年比34.0%増)で、ヘルパー不足や高

齢化、燃料費の高騰などの影響によるものと分析している。次いで通所・短期入所介護事業所の41件（40.5%減）。倒産の原因は、人手不足による利用者の減少など販売不振（売上不振）が8割近い92件（15.0%増）で最も多く、負債総額の最多は「1千万円～5千万円未満」の83件（5.6%減）で約7割。従業員数は「5人未満」の75件（11.7%減）、「5～10人未満」の27件（15.6%減）と、10人未満が8割以上を占めた。

（1/22付 国保情報）

## （2）老健・特養は引き上げ、訪問介護は引き下げ 介護報酬改定

武見敬三厚生労働相は22日、2024年度介護報酬の見直し案を、社会保障審議会・介護給付費分科会（分科会長＝田辺国昭・国立社会保障・人口問題研究所長）に諮問した。基本報酬については、介護事業経営実態調査で初の赤字となった介護老人保健施設と特別養護老人ホームの引き上げ幅を大きくした。他方、訪問介護など4サービスは引き下げとなった。

24年度改定では、改定率1.59%増（国費432億円）の財源のうち、0.61%分を基本報酬などの見直しに充てる。介護職員以外の処遇改善分も含む。22年度決算に基づく介護実調で1.1%の赤字だった老健施設の基本報酬は、「基本型」では多床室・ユニット型ともに最高で1%台前半の増点とした。引き続き拡充を図る「在宅強化型」は最大4%台前半とした。在宅強化型・多床室の老健施設は、「要介護1」で836単位を871単位とする。

特養の基本報酬は、「地域密着型」を従来型・ユニット型ともに、要介護1～5の全てで3%程度引き上げる。従来型・ユニット型は、2%台後半の増額。介護医療院は、比較的重度の要介護者に対応する「I型」について、要介護度を問わず基本報酬を1%程度増額する。多床室の「要介護5」では、1362単位を1375単位とする。通所介護は0.5%程度の引き上げ、訪問看護は0%台前半のプラスとし、現行単位をほぼ据え置く。居宅介護支援は、1%前後の引き上げとなる。

一方、実調の収支差率が7.8%の黒字だった訪問介護は、基本報酬を2～3%引き下げる。「身体介護」の「30分～1時間未満」の区分は、396単位から387単位に減額する。定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、介護予防訪問リハビリテーションも合わせて、計4サービスは基本報酬を引き下げる。 （1/23付 メディファックス）

## （3）子どもの「支援金制度」、法案提出へ

こども家庭庁は26日開会の通常国会に、「子ども・子育て支援金制度」や、「子ども・子育て支援特別会計」（いわゆる「こども金庫」）を創設する法案を提出する。子育て支援を強化するため、児童手当の抜本的な拡充や、妊婦のための支援給付の創設なども図る。

法案は、政府が昨年12月にまとめた「こども未来戦略」を踏まえている。戦略の「加速化プラン」を着実に進めるため、給付面・財政面で改革したい考えだ。2026年度に始まる支援金制度は、出産・子育て応援給付金や、共働き・共育てを推進するための経済支援などを目的とする。財源は、医療保険者が集める。保険料と併せて支援金を徴収し、納付す

ることになる。このため、法案では、医療保険関連法も改正する。

加速化プランに沿って、妊婦などへの相談支援事業の創設や、産後ケア事業の計画的な提供体制の整備も図る。ヤングケアラーについては、国・自治体による子ども・若者支援の対象として明記する方針だ。法案の名称は「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律案」（仮称）。予算関連のため、優先して審議される見通しだ。

(1/23付 メディファックス)

## 2、当面の重点課題

### (1) 東京社保協独自の取り組みなど

#### 1) 都内医療提供体制の充実を求める

資料：26～31

東京都保健医療計画（第7次改定）、第4期東京都医療費適正化計画、第3次東京都健康推進プラン21等のパブコメが12/26～1/24で実施されました。年末年始の中で多数の意見公募が行われるというのは、都民の意見応募の機会を狭めているのではないのでしょうか？またどれも該当ページと意見内容、理由と記載フォーマットが決まっており、総論的な記載をしようとするとうるさく感じます。都が意見集約をするには便利かも知れませんが、都民が気軽に自由に意見提出することが難しくなっていると思います。東京社保協としても加盟団体に提出を呼びかけるとともに、案を読み込む時間も少なく部分的で不十分な内容ですが、保健医療計画については意見を送付しました。

さらに1月下旬から第9期東京都高齢者保健福祉計画のパブコメが予定されています。

また、2023年度第2回地域医療構想調整会議が1/12～2/8にかけて開催されています。

…パブコメを書けと言われても書けない。保険料が高すぎる、安くしろというだけでも良いのではないかと。足立区は600件以上出されて、議会でも介護保険料の値上げはどうかという意見が自民・公明から出されている。意見出す前に公聴会への参加を呼びかけている。そういったしくみをつくらないと難しいかも知れない。なかなかそういう風にはいかない。出てきた文書を読み込むだけでも難しいので、集団で読み込むなどの工夫も必要ではないか。パブコメの仕組みを運動で作ってきたが、今は体制側が逆にそれを利用している。

#### 2) いよいよ判決へ 新生存権裁判東京

資料：32～33

判決日 6月13日(木)15時～

いのちのとりで裁判は、1/15鹿児島地裁で原告勝訴、1/24富山地裁で原告勝訴となり、30訴訟のうち25地裁で判決が出されて原告14勝11敗となりました。今後は2/22津地裁、6/13東京地裁での判決日が決まっています。残りの岡山、前橋、松山地裁は判決日未定です。東京の判決日まで、引き続き運動の勢いを増す取り組みが必要です。

また、大阪と名古屋訴訟が最高裁へ、原告勝利の東京はっさく、千葉、埼玉、神奈川、静岡訴訟が東京高裁へと舞台が移っています。これらを東京で支える運動もさらに広範なものにしていかなければなりません。同時に原告が高齢となっていることから、司法での

決着を待つまでもなく、政治的な早期決着を求める世論構築も必要です。

東京はっさく訴訟 控訴審第1回口頭弁論（東京高裁）

3月12日(火) 13時40分～ 東京高裁101号法廷  
国から40分、原告弁護団20分の口頭弁論を予定

こうした状況も含めて、東京の判決に向けて、宣伝・学習会、集会開催の具体化を通じて運動の拡大・強化をしていきたいと思ひます。

①宣伝行動への参加をお願いします

- ・1/20茗荷谷駅前宣伝は、雨のため中止しました。
- ・3月●日(木) 8:15～9:15 東京地裁前（地裁関係者向け宣伝）  
さらに5月土曜日、場所未定で取り組む予定です。諸団体の協力をお願いします。

②学習会もしくは決起集会

生活保障法をテーマに学習会の開催や原告を励ます取り組みなど、生存権裁判を支える東京連絡会で具体化していきますので、ご協力ください。

③署名の目標達成へ

到達は33,642筆です。5万筆目標で残約17,000筆を早期に達成させましょう。

### 3) 自治体への調査や自治体・議会への要請など

自治体や都の要請や分析に活かすため、地域社保協の要請・陳情の取り組みや国保や介護等に関する自治体、議会論議の特徴を東京社保協にお知らせください。また、様々な次期計画の案が出され、パブリックコメントが実施されています。積極的に意見を送付するとともに、事務局へも寄せて頂き、地域交流をはかりたいと思ひます。

- ・練馬社保協が第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画についてパブリックコメントを作成しています。

**資料：34～41**

現在、東京社保協として計画・課題としている調査・要請は下記の通りです。地域社保協や諸団体の協力もお願いしたいと思ひます。

①国保関連

- ・「高すぎる国民健康保険料（税）を引き下げ、誰もが安心できる国民健康保険制度の実現を求める請願」の到達は20,777筆です。残る期間さらに積み上げてください。  
署名最終集約については、1月末とします（議会への提出最終期限は2/5）。それまでに集まった署名を事務局へお寄せください。なお委員会での審議は、  
2月14日(水) 13時～ 都議会厚生委員会で行われる予定です。傍聴ください。

- ・国保アンケートは再度の要請の結果、現在38/62自治体から回答（うち2自治体は統計資料が届く）がありました。さらに4度目アンケートを送付し、回答を求めています

が、未回答の自治体には地域からも回答を働きかけてください。

② 東京都後期高齢者医療広域連合及び議会への働きかけ

資料：42～45

11月提出した保険料値上げするなの陳情について、東京高連とともに広域連合との懇談を行います。またその場で現行保険証の交付継続を求める申し入れも行いたいと思います。

1月29日(月)14時～ 東京区政会館（飯田橋、30分前に1階ロビーに集合）

なお、広域連合の予算議会は下記日程で行われますので、傍聴ください。

1月31日(水)14時～ 東京区政会館

③ 介護関連

資料：46～49

- ・1/12に介護をよくする東京の会として重点要望対都懇談を行い、都福祉局介護保険課長が対応しました。1/4新年都知事職員向けあいさつで介護職員確保として都独自の処遇改善を行うことが表明されましたが、居住支援手当として支給されるその大まかな内容をつかむ事ができました。内容はともかく、ようやく都は介護職員不足が深刻であることを受け止め、私たちの要求が都を少しでも動かして独自財源を出すところまで至らせた成果です。介護事業所の経営困難や一人夜勤問題、訪問時のハラスメント問題についても現場実態を詳しく伝えることはできました。

…都が独自財源で処遇改善を行ったことは、不十分ながらも私たちの成果と思う。

…都の施策内容は、同一法人で勤続5年目までは2万円、その後は1万円ではないか？居住支援手当として支払う、障害福祉も対象になると聞いている。正確な情報はたぶん明日出されると思う。

- ・1/24「介護保険 第9期事業計画、制度改悪、報酬改定を縦横に語る」の学習会 中央社保協との共催となり、同時YouTube配信も行い、集団視聴もあるので約100名（会場11名、オンライン49アクセス）が参加しました。

4) 「4の日」宣伝（Since2017年2月～）など

①東京社保協・中央社保協の共同での「4の日宣伝」

- ・1月は5団体15名参加し、署名は4種類合計で66筆が寄せられました。また、能登半島地震支援カンパも募金箱を置いて行い、4,225円が寄せられました。

…66筆は多いのか？先月は百超。いつも50～60位。昨日消費税署名もやったが、先月より反応が良いと感じた。

次回は2月14日(水)12時～、巣鴨駅前 で開催しますので、ご参加ください。

②各地域社保協での独自・共同宣伝（再掲）

9の日宣伝、25日宣伝や消費税宣伝に諸団体と合同しての実施も含めて、地域社保協として計画してください。中央社保協が各種プラカード案を作成しています。

## 5) 学習会の開催について（再掲）

- ・来年度の医療・介護報酬、制度改定を意識して各地域で学習会等の開催を旺盛に進めてください。地域社保協へは講師料・会場費などへの援助を年間1万円まで/団体をしますので、積極的に活用してください。

### (2) 中央社保協の取り組み関連

#### 1) 全国署名など社会保障制度充実

資料：50～52

- ・ 2・1 高齢者中央集会、国会議員要請行動  
2月1日(木) 10時半～ 第2衆議員会館 多目的会議室  
講演 伊藤周平 鹿児島大学教授  
集会後 国会議員要請
- ・ 第2回介護署名国会提出行動  
2月29日(木) 12～13時 国会議員会館内(場所未定)
- ・ 中央社保協では「介護保険制度の抜本的改革提言」パンフを作成中です。
- ・ 1/15安心できる国保のために(国保パンフ学習会)が開催され、会場+Webで140名が参加しました。引き続き、中央社保協作成の国保パンフを普及して学習しましょう。

#### 2) マイナンバーカード問題

資料：53～56

政府は、12月2日をもって現行保険証の発行を廃止する政令を閣議決定しました(廃止後も発行済み保険証は最長で1年間は有効)。河野デジタル大臣は、能登半島地震後に電気や通信が復旧にないにもかかわらず、マイナンバー保険証の有効性をアピールするという実態を理解していない発言をしています。

また1/12に厚労省は、マイナ保険証利用率が増えた医療機関に増率に応じた支援金支給やカードリーダー増設費用の半額支援などの支援策を発表してマイナ保険証の普及に躍起になっています。国民へはポイント、医療機関へは支援金と多額の税金を投入してまで餌をちらつかせ、マイナカードを持たせたい思惑を広く知らせましょう。

引き続き「現行の保険証を残してください」請願署名の取り組みを広げるとともに、学習会などを開催し、廃止するなの世論をさらに広げましょう。

- ・・・9月から12月まで取り組んでいた東京保険協会が23区と三多摩の自治体に現行の保険証を存続するように求める意見書は、調布と小金井が採択で国に対して意見書を出したのと、荒川が趣旨採択っていうことで落ち着いた。今回は働きかけがしにくいので島嶼部は除いたが、八丈島が「健康保険証を当面廃止しないよう求める意見書」を12月19日に可決している。中央社保協の一覧表に出ていた。

それで、自民党も賛成して意見書採択になっているのが静岡市以外にも札幌、政令市

ではないが、兵庫県の川西市と福岡県の柳川市で自民党も賛成して採択されて意見書を国に挙げている。保団連の理事会で川西市については自民党が賛成で反対が公明党と維新の系列の市民ファーストだったそうです。諦めることなくやっぱり働きかけを保守系も含めてやっていくことが大事、そういうあの土壌ができてきている。

マイナ保険証の利用率については、1/19の厚労省医療保険部会報告で4.29%、利用率が8ヵ月連続で低下してきている。デジタルに親和性のある若年層ほど利用されていないようになってきたという発言がされていた。

もう一つ大事なことは国保新聞に出ていたのですが、資格確認書の中身が公表されて、結局、中身はこれまでと全然変わらない、紙またはプラスチックのやつで健康保険証被保険証書いてあるのが健康保険資格確認書に変わるだけだった。メーカーは改修させたかったでしょうけれどね。

- ・・・医者からするとそれに向けて機械を購入するとなるのでしょうか？これは、レセプト請求の義務化にもつながっていくのですね。医科は、今回の資格確認書を読み取れるカードリーダーとNTT回線つなげるということで一定程度対応できるのですが、歯科が意外とオンライン請求になった時にまた別途費用かけてやらないとならないとできないんだそうです。歯科の先生はもうとてもそこまで費用を出せないということでもう閉院という話が全国的に出てきて、実際に地域で頑張ってきた高齢の先生がやめちゃって無歯科地域になってしまうような状況が出ているっていうふうには聞いている。デジタルに対応できない医療機関は消えてもらって構わないよっていう感じ、その地域医療が崩壊しても責任取らないような感じです。
- ・・・オンライン資格確認の訴訟で、地方で閉院に追い込まれて医科・歯科医師の声を今度、裁判で陳述書として提出していく方向。東京では閉院するところは？実際、後5年、10年義務化がなければ続けたっていう先生がやっぱり閉院を決めている。オンライン請求に移行できない先生はやめていくっていうことがある。跡継ぎも結構いない、もう儲かる産業ではないと思っていて、他の産業にご子息とかご息女が行っているとは聞きます。

### 3) 中央社保協 代表者会議 (再掲)

- ・ 2月12日(祝) 13時半～16時半 全労連会館2階ホール  
申込は1/19までですが、まだ参加可能ですのでお問合せください。
- ・ 中央社保協取り組み署名の紹介議員要請行動  
2月13日(火) 12時～ 第2衆議員会館第5会議室(予定)

### 4) 改憲阻止、核兵器禁止にむけた取り組み

資料：57～58

- ・ 引き続き「憲法改悪を許さない全国署名」「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名」を広げ、諸団体とともに9, 25日宣伝に取り組みましょう。
- ・ 第4回院内集会 平和、いのち、くらしを壊す戦争準備の大軍拡・大増税NO! 連絡会

20240125第9回常任幹事会

1月31日(水) 14時～ 第2衆議員会館 多目的室

・「軍拡・増税、くらし破壊の悪政NO！」 総がかり行動実行委員会

1月31日(水) 18時半～ 四谷区民ホール

### 3、東京社保協第54回総会にむけて

1) 加盟団体調査について

資料：59～68

2月から3月末の期間で別紙案により地域社保協及び都団体へのアンケートを行いますので、ご協力をお願いします。

2) 第2回東京社保学校の開催 (4月予定)

テーマについて前回の論議では、①都知事選を意識したもの②医療や介護など東京の実態を掘り起こすようなもの③貧困問題と自治体のかかわりを押さえた上で、貧困支援などの実態報告という内容が出されました。事務局として以下案を記載しましたが、これにこだわることなく、引き続き検討願います。

日程案 4月6、13、20、27日(土) 13～17時 \*講師と会場による

会場案 ラパスホール (4/6, 27可) +Web か けんせつプラザ東京

講演案 「貧困を生み出す社会構造から考える貧困対策」

志賀信夫 (県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科人間福祉学コース准教授)

報告案 「貧困支援の実態と課題」

大西連 (認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事長)

「無料低額診療の実態と課題」 橋場診療所事務長か師長

…日程を後にずらす事もありでは？4月に特にこだわる訳ではないが、今期の方針には、社保学校開催を11、4月と初めて2回と提案しているので。都知事選を考えるとその前にやる意味があるのではないか？

…講師、報告案で進めていく。諸団体の行事日程を勘案すると学習会は4月20日。講師との関係もあるので、20日と21日を候補日として調整する。

3) 第54回総会開催について

日時案 5月18日(土) (昨年は5/13) 10～16時半

会場案 けんせつプラザ東京 (仮予約、決定は4月初)

運営 直近に東京社保学校があることから、学習講演はなし (前回は2テーマで講演を行った) にして活動経験交流を中心に開催したらどうか？

規約の改定提案：会計年度を4～3月に変更する予定。前回会議でその他の項目も検討としたが、特に変更はないと思われる。

・加盟団体が一堂に会す場は総会しかない (=団体・地域代表者会議が開催できていない) ことの検討等

・常任幹事選出団体の検討：この間の出欠状況？地域社保協を増やす？

…こんな時こそ社保協の出番、地域社保協が活性化していくような総会、交流をすべ

## 20240125第9回常任幹事会

き。学習会とは別に従来の通り、活動交流を多くする日程で実施した方がよい。活動で悩んでいる人達にも出て貰えるような、意思統一できるような総会をめざす。

- …その他規約で改定した方がよいところ、常任幹事団体についての意見等があれば、後にでも出して欲しい。
- …5月18日で決定する。午前中：方針提起、午後：討論、活動交流といった内容で実施する。

## 4、決裁事項

なし

## 5、要請事項、その他

01月	26日(金)18:30～	台東社保協	国保学習会	入谷区民館	小川
02月	04日(日)10:00～	東商連共済会	社会保障・介護学習会	東商連会館	窪田
	10日(土)14:00～	足立社保協	国保学習会	足立教育会館	窪田

### (2) 当面の日程

01月	30日(火)14:00～	東京高齢期運動連絡会幹事会	東部区民会館
02月	01日(木)10:30～	高齢者中央集会	第2議員会館多目的室
	02日(金)08:15～	いのとり裁判最高裁前宣伝	
	07日(水)10:00～	中央社保協第7回介護・障害者部会	医労連会館+Web
	13:30～	中央社保協第7回運営委員会	医労連会館+Web
	12日(月)13:00～	中央社保協代表者会議	全労連会館2階
	14日(水)10:00～	介護をよくする東京の会事務局会議	5階地評会議室
	12:00～	4の日宣伝行動	巣鴨駅前
	15日(木)14:00～	東京高連常任幹事会	東部区民会館
	20日(火)12:15～	都議会開会日行動	都庁第一庁舎前
	22日(木)13:30～	東京社保協第53期第10回常任幹事会	
	29日(木)12:00～	介護署名国会提出行動	

### (3) 常任幹事会の日程(定例日:毎月第4木曜日)

次回 2月22日(木) 13:30～ 5階東京地評会議室とオンライン